

なかとんべつ 町議会だより

Volume

207

令和元年7月10日発行



中中よさこい！鍾乳洞芝桜まつり

町民の安心と安全を守る防災対策事業に3億5千万円！
一般会計補正予算 総額約6億6千6百万円！

第2回定例会議決内容	3
私たちの一般質問	4
主な質疑及び答弁	7
いきいきふるさと常任委員会	8
報告事項、議会だより	9
管内議員研修会報告・議会の動き・編集後記	10



町政執行方針を表明する小林町長

第2回 定例会

令和元年第2回定例会が、6月6日から5日間の会期で開催され、冒頭の行政報告で小林町長から1点報告がありました。

1. 天北地域生活交通確保対策協議会の取組状況について

天北宗谷岬線の路線バスは、宗谷バス株式会社により運行しており、稚内市・猿払村・浜頓別町・中頓別町の4市町村で構成する天北地域生活交通確保対策協議会において検討協議を行っております。

本年10月1日以降、当該バス路線は国庫補助対象外となる見通しとなり、関係市町村の負担が増大する見込みとなりました。

本年10月以降のダイヤ見直しにあたりましては、通学、通院、買い物などの地域住民の移動ニーズに対応することを基本とし、現在運行している21便のうち、7便で区間を短縮、5便を廃止することとしております。

地域の足を守るため、関係市町村と連携し、今後、北海道との意見交換の場を設けるなど、活動を展開していき、本年10月からの新ダイヤの実施にあたりましては、関係市町村が一致して周知を図り、混乱が生じないように努めます。



10月から新ダイヤとなる宗谷バス

教育長の教育行政報告でも1点の報告がありました。

1. 未来への挑戦「ハワイ英語研修」事業について日程は8月2日～9日、オアフ島のホノルルで実施し、参加生徒は中学2年生11名、中学3年生4名で、生徒と引率者19名が参加する事業となります。保護者対象の説明会は既に実施していますが、今後はホームステイ研修の具体的な内容等について説明会を開催する予定となっています。



昨年も実施したハワイ英語研修

一般質問では、通告順に5議員が質問を行いました。

報告では、平成30年度一般会計予算を平成31年度に繰り越して使う「繰越明許費繰越計算書」のほか、町が資本金を出資している「有限会社中頓別振興公社」の平成30年度経営状況が報告されました。

任期満了に伴い町長が推薦する人権擁護委員候補者に対する意見の諮問2件、条例制定及び改正、補正予算を含む10議案を原案可決し、議員提案による条例の制定は否決となり、会期を3日残して7日に閉会しました。

第2回定例会で 決まりました



議決内容

○ 諮問第1号 人権擁護委員候補者に対する意見 石井英正氏（再任）

○ 諮問第2号 人権擁護委員候補者に対する意見 藤田淳磨氏（再任）

諮問第1号、第2号は、任期満了に伴い、町長が推薦する人権擁護委員2名について、議会の意見を求められたことに関して、いずれも適任であると答申しました。
（任期3年 令和元年10月1日）

令和4年9月30日

○ 議案第33号 介護保険条例（一部改正）

本年10月に予定されている消費税率引き上げに伴う、低所得者に対する軽減措置の拡大。

○ 議案第34号 山村交流施設の設置及び管理等に関する条例（一部改正）

トレーラーハウスの宿泊施設を設置し、運用することに伴う利用料金の設定。

○ 議案第35号 過疎地域自立促進市町村計画の変更

今年度実施する事業について、財源の確保を図るための計画変更。

○ 議案第36号 北海道市町村総合事務組合規約の変更

○ 議案第37号 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

○ 議案第38号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

○ 議案第39号 物品売買契約の締結

観光滞在施設購入（トレーラーハウス）にかかる契約の締結

○ 議案第40号 一般会計補正予算

歳入歳出に6億6千641万円を追加し、総額は41億1千951万円に。

歳出の主なものは、人事管理事務事業3千5百万円、防災対策事業3億5千280万円、電子自治体推進事業1千495万円、総合行政システム機器更改事業2千428万円（総務費）

一般廃棄物処理事業1千548万円（衛生費）

草地整備型公共牧場整備事業3千800万円（農林水産業費）

観光振興計画フォロアップ事業1千883万円（商工費）

中頓別弥生線交付金事業4千984万円（土木費）

寿野外レクリエーション施設費4千363万円（教育費）

○ 議案第41号 自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出に363万円を追加。総額は4千252万円に。

歳出では、教習生送迎用車両購入を計上。

○ 議案第42号 国民健康保険病院事業会計補正予算

収益的収支の収入及び支出にそれぞれ70万円を追加。総額は5億4千19万円に。

歳出では、旧管理人住宅解体にかかる固定資産除去損を計上。

資本的収支では、収入の組み替えにより増減なしとなっています。

× 発議第1号 議会の議員報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例（一部改正）

町議会議員の期末手当（2.6月分）を廃止。

※ ○は原案可決、×は否決

ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

地震・集中豪雨などの天災対策について

地震・集中豪雨などの天災は自然現象であり、それ自体の発生を抑制することは困難ですが、被害を少しでも小さくする防災、減災の取組みが近年、一層重要になっています。そこで、本町における地震・集中豪雨をはじめとする天災対策と住民への周知について伺います。

答弁 ○小林町長

当町において大きな地震災害は開拓の時代から経験がありませんが、一般住宅における耐震性が不十分な住宅は全体の43%程度と推計されており、特に危険を伴う廃屋につきましましては、危険廃屋解体撤去助成事業によ

り補助され、その危険性の排除を推進しているところであり、集中豪雨における洪水ハザードマップにつきましては、現在、国から1000年に1度起る大雨に基づく作成を指導されており、今年度実施予定の北海道の調査を基に作成することを計画しております。また、昨年度の胆振東部地震における停電災害の教訓として、住民における情報収集の手段として世帯毎に防災用ラジオ1台を配付することとしております。また、情報伝達的手段といたしまして、本定例会において防災用行政無線の整備のための補正予算を計上しております。

り補助され、その危険性の排除を推進しているところであり、集中豪雨における洪水ハザードマップにつきましては、現在、国から1000年に1度起る大雨に基づく作成を指導されており、今年度実施予定の北海道の調査を基に作成することを計画しております。また、昨年度の胆振東部地震における停電災害の教訓として、住民における情報収集の手段として世帯毎に防災用ラジオ1台を配付することとしております。また、情報伝達的手段といたしまして、本定例会において防災用行政無線の整備のための補正予算を計上しております。

高橋憲一 議員



質問

国保税の子ども均等割の減免について

今年度も国保税限度額が値上げされましたが、均等割のうち子どもの均等割について減免出来ないか伺います。

答弁 ○小林町長

北海道国民健康保険運営方針で、「被保険者の負担の公平性から、将来的には道内どこに住んでいても、所得水準、世帯構成が同じであれば、保険料は同じであることを目指す」ことから、現時点では町単独の独自の減免制度を設けることは広域化の趣旨にそぐわないと考えます。

質問

自立的農業の育成について

今日の中頓別の農業を取り巻く環境は一段と厳しくなっています。農水省が近年「農業女子プロジェクト」を立ち上げているように、当町でも女性の農業進出を後押しする施策が出来ないか伺います。

答弁 ○小林町長

本町は酪農振興を重点に進めていますが、高齢化、後継者不足等で生産体制維持が困難になっていきます。他地域では6次産業化の分

野で女性農業者の活躍の事例がありません。

女性農業者が活躍することは地域の魅力を高めることにもなり、どのような取り組みが考えられるか検討したい。

長谷川 克弘 議員



質問

自然環境保全について

平成29年12月定例会で質問した件ですが、町を流れる河川での外来種対策についてです。頓別川や兵知安川とその支流における在来種と外来種の関係性と生息調査や駆除について、当時町長からのお答えでは、「これまで町として深く議論されたことはないと思わ

れ、まずは実態を把握した上で基本的な考え方を整理しなければならぬ」とお答えをいただいた河川の外来種に対する取り組みについて2年が経過し、その実態把握や調査、基本的な考えの整理は出来ているのか伺う。

答 弁 ○小林町長

平成30年度におきましては、生息調査の事前調査としまして文献調査や、今まで実施してきた生息調査、聴き取り調査の状況を把握したうえで、今後の対応を検討してきたところにあります。文献調査の中では、ニジマスが外来種となっておりますが、その影響がどこまでというところは専門家の意見も交えて調査を行っていく必要があると考えており、今後できるだけ早く体制を作りたいと考えております。

今年度におきましては、町内の釣り人に協力を得ながら情報提供を頂き生息状況の実態調査を実施していきたいと考えております。

質問

健康寿命を延ばす対策について

「健康寿命」とは、介護を受けたり寝たきりになったりせず日常生活を送れる期間であるということですが、北

海道の平均寿命は2016年度男性で72.0歳、女性で73.8歳とされており、健康を害したかたちで男性は約8年、女性は約12年も身体機能を制限された上での生活となります。

健康で文化的な生活を長く送ることこそが、予防医療や保健福祉の重要課題と考えるが、我が町の今後の対策を伺う。

答 弁 ○小林町長

当町では、健康に関する計画「健康なかとんべつ21」を策定し、その計画に基づき、健康寿命の延伸と健康格差の縮小についての事業を行っております。また、後期高齢者の脳血管疾患・心疾患・糖尿病性腎症といった生活習慣病の治療の割合が高いことから、健康寿命の延伸にはその発症予防と重症化予防が重要となります。健康で文化的な生活を長く送るため、生涯を通じて健康づくりを進めていきます。町立病院理学療法士・作業療法士による個別指導、健康運動指導士を養護老人ホームやデイサービスセンターへ派遣し健康運動プログラムを実施するなど、事業を拡大して実施していきます。

星川 三喜男 議員



質問

なかとんべつ観光まちづくりビューローの運営について

各施設の利用、使用単価が高いという声が多数あがっています。そこで、次の3点について伺います。

- ①温泉、コテージ、自然学校、もうものなどの前年度と新組織となった今年度の4月、5月の利用実績はどのようになっているか。
- ②DMO組織の社員として出資金または基金を今後積み立てる考えはないか。
- ③各施設の利用者目線は、町民か町外者になるのか。

(別紙資料) 施設毎利用者数の対比

■そうや自然学校

年度	利用者数		
	合計	町内	町外
平成30年度	4月	10人	10人
	5月	30人	22人
	小計	40人	32人
令和元年度	4月	4人	4人
	5月	19人	6人
	小計	23人	6人
合計	57.5%	18.8%	212.5%

■ビンネシリ温泉

年度	利用者数(宿泊者)		
	合計	町内	町外
平成30年度	4月	186人	186人
	5月	259人	259人
	小計	445人	445人
令和元年度	4月	71人	71人
	5月	115人	115人
	小計	186人	186人
前年比	41.8%		41.8%

■もうもう

年度	利用者数		
	合計	町内	町外
平成30年度	4月	18人	17人
	5月	10人	5人
	小計	28人	22人
令和元年度	4月	5人	5人
	5月	5人	4人
	小計	10人	9人
合計	35.7%	40.9%	16.7%

■コテージ

年度	利用者数		
	合計	町内	町外
平成30年度	4月	55人	55人
	5月	189人	4人
	小計	244人	4人
令和元年度	4月	101人	10人
	5月	168人	22人
	小計	269人	32人
合計	110.2%	800.0%	98.8%

答 弁 ○小林町長

①なかとんべつ観光まちづくりビューローが現在管理運営している施設における、前年度4月、5月の利用見込みの比較は、※別紙資料のとおりとなっております。

②社員の増員及び基金の増額等の対応については、今年度中に方向性を検討していく考え方とされています。

③各施設は、町民の方にも町外から訪れる方にも喜んで利用していただける管理運営に努めるよう町としても指導しております。

宮崎 泰宗 議員



質 問

小林町政二期目にあたっての所信表明と執行方針について

小林町長は、所信表明の冒頭で職務を全うすると覚悟を示されたが、たった一日の選挙戦でさえ戦うことが出来ないほどの健康問題を抱えていたことから、まずは本当に再度四年間、誠心誠意町民の負託に応えるということに對してなんの不安もないのか伺う。

また、所信表明では、全町のブロードバンド化についても触れられており、これは、遅れている中頓別町内市街地以外の地域での光回線普及など、快適なインターネット環境を提供することと思うが、具体的にはどのような対応

をお考えなのか。実現の見通しはあるのか。

執行方針の観光面では、DMO組織と行政が一体となって観光まちづくりを進めていくとあるが、一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューローは日本版DMOや、その候補法人などに登録されたのか。

住環境の整備については、特に民間賃貸住宅の増加によって町営住宅等の空室が増えてきた影響により、町に与っての家賃収入は減る一方で、町職員の仕事手当は大幅に増加している。町の住宅事情について再度見直しをかける必要があると思うが如何か。

答 弁 ○小林町長

選挙時に入院しなければならぬ事態となったことについては心から申し訳なく思っているが、今後の公務に支障を来すものではなく、職責を全うしていきたいと考えている。

全町ブロードバンド化については、国の補助事業を前提に検討を進めており、公設だけでなく民設での整備も補助対象となることから、通信事業と整備手法を含めた実施の可能性を協議し、整備に要する経費や整備後にかかるコストなどを検証した上で今年度中に判断したいと考えている。

ローでは、当面は既存の指定管理受託施設の全体的な運営を確立することに重点を置いた運営をしており、現時点ではDMO組織としての候補法人等に登録はしていない。

住環境の整備では、現在、町営住宅等の空室は、政策空室を除いた全体の戸数に対して約4%となっており、独身者住宅の空室は3戸という状況である。町営住宅等の将来的な需要を見据え民間賃貸住宅の補助金についても継続していくか検討したいと考えている。

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

議案審議の 主な質疑及び答弁



議員の期末手当廃止を訴える星川議員

発議第1号

議会の議員報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例の制定（一部改正）

Q. 人口減少と今後の町の財源を具体的にどのように考えているのか。議案が否決された場合に、期末手当を受け取るのか。

（細谷議員）

A. 一期4年間分の期末手当を別に積み立てをします。議員を辞める時に、町に寄付します。人口減少により税収が減ってきます。また、交付税も毎年減っているなかで、議員の期末手当を削減することで、少しでも町民のために活用してほしい。

（星川議員）

【討論】

（反対）

○細谷議員

議員の期末手当については、特別職報酬等審議会で今後の財政を踏まえて慎重に審議された結果だと思えますし、この回答を真摯に受け止めるべきだと思います。議員のなり手不足や無投票当選が増える中、議員の期末手当を支給することにより、若い世代の議員として議会に参加出来る機会を与えることにもなり、今後の町の活性化にも繋がるものと考えます。

（賛成）

○宮崎議員

議員報酬が低い、定数が少ない自治体ほど、なり手不足の傾向にあるとデータ上示されている。しかし、自治体それぞれ事情が違いますので、中頓別町議会では報酬が高くないでも、恐らく期末手当が無かったので年収でいったら日本一安かったと思います。その中で、過去でも無投票は少なくほとんどが投票になっていた。報酬を上げてもなり手不足の解消にはならない。期末手当の減額に関する規定がなく、制度上の問題もある中、新しいことにチャレンジしようとする期末手当の廃止には賛成したい。

（反対）

○東海林議員

特別職報酬等審議会で相当な時間をかけて論議され提案されたことを否定することになる。また、財政事情を理由にするなら議員だけ減らす論理は無い。

審議会の答申では、各種委員や特別職を含めバランスを考えた中に議員も入っていたことから、議員だけ期末手当を廃止することは全体のバランスを考えたときに公平性に欠ける。期末手当は議員に与えられた唯一の手当てであり、他町村の比較もされていることから時期的にも妥当性があるものと考えます。

表決結果、賛成少数で否決

〔賛成者〕星川議員、宮崎議員

議案第34号

山村交流施設の設置及び管理等に関する条例の制定（一部改正）

Q. トレーラーハウスの設置場所はどこになるのか。（星川議員）

A. 設置場所はキャンピングカーサイトで電気が引けるところになる。

（永田産業課参事）

Q. 暖房料の1泊1500円は1棟で6000円と高いことか。

（東海林議員）

A. 1棟1泊1500円になります。

（永田産業課参事）

議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。次の定例会は、9月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ (<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>) で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから [中頓別町について](#) ⇒ [中頓別町議会](#)、又は [行政情報](#) ⇒ [議会](#) へ進みご覧ください。議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel 6-2244（議会事務局）へ。

いきいきふるさと常任委員会

議員全員で構成するいきいきふるさと常任委員会（宮崎泰宗委員長）では、本会議で審査を付託された1議案について、審査の結果、次の意見を付して全会一致で原案可決し、議会で報告しました。

議案第40号 一般会計補正予算

【審査意見】

各事業にかかる委託について、より町の考え方や町民の意思を反映し、また職務の領域を拡大することにより委託料などの削減を望む。

いきいきふるさと 常任委員会 主な質疑&答弁



総括質疑

問 委託料が多いし金額も大きいので、職員で対応できるものはないか。
(星川議員)

答 職員で出来ることは職員でということの基本として、指摘された点については執行前にしっかり精査し対応したい。
(小林町長)

総務費

問 説明資料で屋内受信機1,000台となっておりますが、ラジオと一緒に全戸配付になるのか。

答 各家庭に1台ずつ受信機を配付する。
(宮崎議員)

問 防災無線はどういう仕組みになるのか。

答 町のほうから防災の内容を発信していく。受信機は電池タイプで停電に影響はない。電源が切られていても町の方から放送があれば自動で入る仕組みとなっている。
(東海林議員)

商工費

問 観光振興計画フォローアップ事業は何年かけて仕上げるのか。
(星川議員)

答 計画は今年度に委託して基本計画まで作成することになっている。
(永田産業課参事)

問 1年で1,800万円かけてする価値があるのか。
(星川議員)

答 既存部分の活用方法や配置計画、利用実態やニーズ調査等を含めて基本計画をまとめあげる。
(永田産業課参事)

問 台湾中華大学インターンシップ事業の内容は。
(東海林議員)

答 平成28年度の協定に基づくもので、7月11日～8月19日までの40日間で4名の学生を受け入れる。
(永田産業課参事)

問 敏音知地区宿泊施設再整備基本計画の策定の段階で、診断の結果、宿泊施設を新しく建て直すことも視野に入れているのか。
(西浦議員)

答 計画は今年度に委託して基本計画まで作成することになっている。
(永田産業課参事)

問 委託料が高額なので、宿泊施設全体の老朽化が進んでいるのであれば細かい調査をしなくても建て替えの方がよいのでは。
(西浦議員)

答 今年度内容について精査して、様々なことを考えながら進めていかなければならない。
(永田産業課参事)

土木費

問 中頓別弥生線の工程はどのようになっているか。
(長谷川議員)

答 今年度は設計、来年度は用地で再来年度から工事予定となっている。
(土屋建設課長)

問 弥生線にも歩道付の橋梁が架かるのか。
(長谷川議員)

答 中頓別弥生線は途中まで歩道を付けていますので、それに合わせて橋梁も考えている。
(土屋建設課長)

教育費

問 給料で追加になっているが誰に払うのか。
(東海林議員)

答 現在配置しているALT（英語指導助手）1名が7月末で任期満了となるが、8月からは職員として採用するため追加となっている。
(笹原総務課参事)

報 告 事 項

※ 町が出資する法人等は、毎年度、経営状況を議会に報告しなければなりません。

報告第2号 有限会社中頓別振興公社の経営状況報告

寿レクリエーション施設、一般廃棄物処理施設、鍾乳洞ふれあい公園、国保病院管理清掃、有害鳥獣処理施設業務等を営む同社全体の平成30年度決算状況は次のとおりです。

当期純利益が1,169,636円となりました。

●損益計算結果、貸借対照表

・収益合計	72,296,507円
・費用合計	70,694,732円
・営業利益	1,601,775円
・当期純利益	1,169,636円
・資産合計	23,270,009円
・負債合計	4,981,884円
・純資産合計	18,288,125円



有限会社中頓別振興公社

※ 繰越明許費（くりこしめいきよひ）は、予算に計上されているが、年度内に支出が終わらないと見込まれるものについて、予算に定めることにより、翌年度に繰り越して支出することができるものです。

報告第1号 平成30年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

平成30年度から31年度に次の事業予算が繰り越されました。

(単位：千円)

事業名	繰越金額
起業誘致促進事業	100,000
畜産・酪農収益力強化整備等対策特別事業	33,607
合 計	133,607



起業誘致促進事業を活用したドリームジャンボファーム

町民の皆様への負託を受けて8人の同僚が、明るく元気のよい中頓別町の構築のため活動を始めました。

今後、議会といたしましても、開かれた議会へと充実させるための改革に取り組んでまいります。さて、町議会の役割、議員の役割とは何でしょうか。

町議会は、町民の代表者である議員が、町民の要望や意見をくみ取り、町政に反映させていく役割を担っています。執行機関である町に対し、政策の審議・決定を行う議決機関です。一方で町民の皆様からは町政や議会に対する苦情を多く耳にします。それは、私たち議員の町民に対する説明責任が足りないことが原因で、町民と情報共有をし、身近な議会、議員を指さなければなりません。これからは「駄目なもの駄目」と強い意志で主張し、小さな声にも心を寄せて、どうする事が町民のためになるのか前向きに考え行動出来る活動をして行きたいと思えます。

結びに、今後も負託を受けた者として、その役割をしっかりと果たせるよう私自信も勉強を重ね、町民に開かれた信頼される議会を目指して、少しでも前に進めたい、頑張りたいと思っておりますので町民の皆様方のご支援ご協力を、今後とも宜しくお願いたします。

(綴人・細谷久雄)

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

議会の動き

4月

- 9日 議会広報編集特別委員会
17日 議会広報編集特別委員会

5月

- 7日 全員協議会
10日 第2回臨時会・議会運営委員会
13日 宗谷管内議長会定期総会（稚内市）
16日 中頓別町商工会通常総会
18日 中頓別町クリーン作戦
19日 中頓別消防団春季消防演習
20日 宗谷本線活性化推進協議会定期総会（士別市）
25日 中頓別中学校運動会
28日～29日
町村議会議長・副議長研修会（東京都）
30日 天北地域生活交通確保対策協議会及び稚内音威子府間「命をつなぐ街道」整備促進期成会総会（浜頓別町）
31日 中頓別町育英会総会

6月

- 2日 名寄駐屯地創立66周年記念行事
鍾乳洞芝桜まつり
4日～5日
宗谷管内町村議会議員研修会（利尻富士町）
6日～7日
第2回定例会・議会運営委員会
9日 中頓別小学校運動会
自衛隊協力会総会
11日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
13日 平和祈念式
21日 議会広報編集特別委員会
22日 こども園運動会
25日～26日
北海道町村議会議員研修会（札幌市）

7月

- 2日 議会広報編集特別委員会

宗谷管内町村議会議員研修会報告

《宗谷管内町村議会研修会に参加して》

令和元年度宗谷管内町村議会議員研修会が6月4日、「利尻富士町総合交流促進施設りぷら」において開催され、7名の議員が参加しました。

研修会では、管内9町村の議会議員や事務局職員、また、大谷正毅宗谷総合振興局副局長、田村祥三利尻富士町長にもご来賓として出席頂き、合せて87名の参加を得て議員としての情報交換など横の連携を密にしました。

はじめに主催者を代表して、宗谷町村議会議長会会長である中村忠勝会長（浜頓別町議会議長）が演壇に立ち挨拶をし、来賓挨拶として宗谷総合振興局副局長 大谷正毅様、利尻富士町長 田村祥三様の祝辞を頂き、開催地挨拶として、前田芳久議長が歓迎の挨拶を行いました。

研修会の講演では、「町村議会の課題と議会の活性化」と題し、北海道町村議会議長会事務局



局長 村川寛海氏のお話があり、①最近の町村議会の動向と報酬等の課題、②議員報酬・定数等に関する調査結果の分析、③議員報酬をめぐる現状と町村議会の取り組みなど興味深い貴重な講演をしていただきました。

研修終了後、町内視察が行われ、鬼脇地区小中併置校・オタマリ沼・利尻空港・消防利尻富士支署を視察しました。視察終了後は、「利尻富士町総合交流促進施設りぷら」において交流会を開催、利尻雅道会による琴の披露、利尻富士町の特産品が当たる抽選会を行い、他町村議員との情報交換もでき、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

（報告者：細谷久雄）

編集後記

いつも議会だよりをご覧いただき大変ありがとうございます。広報編集特別委員一同、町民の皆様には議会活動を知って頂くために、わかりやすく、読みやすい紙面の編集に取り組んでいきますので、一読下さることを切に願っております。

平成から令和の時代へ元号も変わり新しい時代への幕開けの今年、中頓別町では、開拓110年町制施行70年の記念の年でもあり記念事業もたくさん計画されており、町民の皆様においても興味を示し、参加していただきたいと考えております。

今定例会では、総額6億6千6百万円の大型補正予算が組まれました。中でも町民の生命・財産を守るための防災行政無線整備に3億5千2百万円の予算で、中頓別町の全世帯に受信機が設置され、また屋外に10基の拡声器が整備される計画です。有事の際には的確な情報伝達ができるものと確信しており、昨年9月に起きた全道一円のブラックアウトのような事象にも対応できると期待しておりますが、「宝の持ち腐れ」とならぬよう、その整備以外にも確実に運用されることを望んでおります。

議会広報編集特別委員会（長）